

3月12日(水)、蔵持小学校6年生から在校生へサプライズ企画として、全校生徒参加の『学校かくれんぼ』が開催されました。

蔵持小学校創立150周年を自分達も卒業前に祝いたいと、全校生徒で楽しめることをしようと蔵持小学校6年生原田桃菜さんを筆頭に6年生全員で企画された『学校かくれんぼ』には、蔵持地区のウォークラリーも取り入れられ、蔵持小の歴史にちなんだクイズラリーも一緒に行われました。

当日は保護者、卒業生、地域の皆さん40名ほどが危険な場所に立ったり、仮装したりしながら、児童達の活動を見守りました。全身に木の葉をつけて隠れたり、音楽家に変装したり、取材陣に変装したり、学生服に身を包んだり、蔵持音頭を踊ったりと、児童だけでなくみんなまで楽しみました。

そして、今回、この企画に取材に訪れたメディアはなんと6社！ネットニュースや新聞掲載、動画やテレビなど放送され大反響でした。また地域みんなで楽しめるような催しができるといいですね。



ads.news

学校かくれんぼの様子はこちら



倉庫に隠れた森原さん、木の葉を体中につけて木の中に隠れた坪田さん、「蔵持のバッハ」に変装した福住さん、協働のまちづくり推進室蔵持地区担当の大杉さんはアドバンスコープのクルーに変装



20日(木)、高見省三さんを講師に第4回歴史講座「飛鳥時代と名張・近隣地域」が開催され、仏教伝来や豪族間の権力闘争を経て朝廷を核とする中央集権化が進んだ飛鳥時代について教えていただきました。

その時代の主な出来事として、蘇我氏と物部氏との権力闘争、勝利した蘇我氏の支援で即位した推古天皇の摂政として聖徳太子が律令制度を整え、法隆寺を創建したこと等、詳しく説明していただきました。

その後、中大兄皇子(後の天智天皇)、大海人皇子(後の天武天皇)、持統天皇へと時代は変遷し、大友皇子と大海人皇子が争った壬申の乱では大海人皇子が名張を通して今の滋賀方面の決戦場に向かって勝利したことなど、興味深い話をしていただきました。

参加された16名の受講者の皆さんは高見先生の話に熱心に耳を傾けていました。

◎今年度の第1回目の歴史講座は6月12日(木)13:30～です。皆様のお越しをお待ちしています。